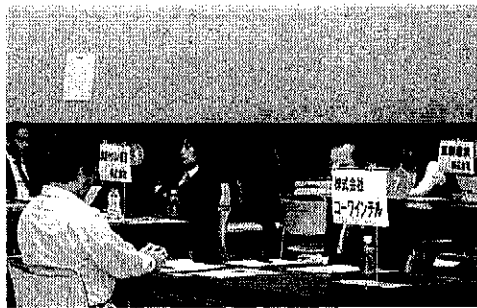
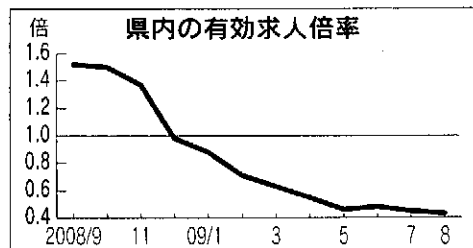


県、地域別に求職説明会

群馬県は人材サービス会社と連携し、退職者の就業支援を強化する。ハローワークに出していない求人を開拓してもらい、県内各地で小規模な求職者向け企業説明会を集中的に開催、就職を後押しする。自動車関連を中心に製造業の比重が大きい県内は雇用情勢の悪化が続いており、地域に密着したきめ細かな支援策を通じて悪化に歯止めをかける。



渋川市で開いた説明会
には14社が参加した



人材サービス 会社と連携 地元雇用後押し

説明会は人材サービス会社のヒューマンリソシア（東京・新宿）が開拓した求人情報を紹介する。各会場とも地元での求人がある15社前後が参加。退職者に工場勤務の経験者が多いことを踏まえ「製造業を中心に集めている」（県労働政策課）という。

このほど渋川市内であったほか30日に伊勢崎市の商工会議所で開催。11月18日に館林市、同27日に桐生市でも予定する。各回100人程度の求職者を集め、企業とのマッチングにつなげる。

企業の人員削減で退職

した人または退職予定者ニエンスストアのセーブら説明会の対象。気軽に参加できるよう市販の履歴書ではなく、県が作成した簡単なプロフィールカードを使う。県のホームページのほか、コンビニ説明会を企画するのは初めて。これまで前橋市など求人企業50社前後を集めた説明会を開催してきたが、各地域になじみが深い企業に絞り込んだ説明会を通じて雇用のミスマッチを防ぐ。

群馬県の有効求人倍率は8月で0・43倍。1963年の調査開始以来、最低水準を2カ月連続で更新。雇用保険の受給者は5カ月連続で1万5000人を超え高水準で推移している。